

## 幼児教育長期派遣通信 2 学期号

発行 令和 6 年 1 2 月 2 4 日

東広島市立下黒瀬小学校 仁井 貴士 派遣園：広島大学附属幼稚園（東広島園舎）

### 1 2 学期の研修内容

- (1) 園内研修→保育補助を通して園児の実態把握、つながりの把握、保育者の意図を把握  
園内外環境整備、園行事参加、保育カンファレンスなど  
幼児教育理解に係る研修会・接続に係る研修会  
ESD にかかわる研究、文化多様性にかかわる研究  
広島大学附属幼稚園保育研究会へのプロセス  
R5 研修生との意見交流
- (2) 園外研修→「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業中間報告会  
「幼保小でとことん話そう！架け橋期の教育・保育」講座  
幼稚園中堅教諭等資質向上研修  
他保育所・幼稚園での保育カンファレンス及び研究会参加  
所属校に入学予定園児の実態把握  
所属校のスタートカリキュラム開発会議

### 2 研修を通して

研修が 9 か月過ぎようとしています。時間の流れとともに、広島大学附属幼稚園（東広島園舎）の子供たちは、遊びの経験を積み重ねながら遊びの質が高まり、自信に溢れ大きな成長を感じます。また、これまで派遣園以外の多くの乳幼児施設（こども園、保育所、幼稚園）に訪問させてもらう機会があり、それぞれの園所の子供の姿、環境づくりを見学し、その後、保育者の先生方と協議を重ねていく中で幼保こ小の連携・接続において、前回紹介した「やってみたい！」という思いに加えて「学びの構え」が大きなポイントだということ学びました。

## ○小学校のカタチに合わせるのではなく、学びの構えをつくり、つなげる！

これまでの幼保こ小接続を意識した取組の中で、例えばイスに長時間座れるように練習をすることなど、小学校のカタチに合わせていくような取組を各幼児施設でも行っていた現状がありました。しかし、私が拝見した多くの幼児施設では、子供たちが自分で考え、決定し、遊びを創造していくことができるような「保育」に変わっていていることを実感しました。

小学校のカタチに合わせてではなく、「学びの構え」をつかっていくことで、子供が新たな環境とつながることができていきます。そして、自分や自分たちで環境をつくり出すことができていきます。私たち小学校教員がこの「学びの構え」を理解し、小学校において柔軟で余白のある環境づくりを行っていくことで、幼児期に遊びを通して育んだ力が小学校での学びへとつながっていくのではないかと思います。では、「学びの構え」とは！？



# 「学びの構え」



参考文献：七木田 敦 ジュディス ダンカン（2015年）

「子育て先進国 ニュージーランドの保育（福村出版）」

## 「個々の関心を大切にする」

・子供一人ひとりの対象に対しての興味関心の度合いは違います。保育者が個々の関心に共感することで、子供は安心し、対象に対しての興味関心が高まり、小学校の学びにつながっていきます。



## 「夢中になり、没頭できる」

・遊びに夢中になり、没頭することを多く経験すればするほど、やってみたいという感情が高まり、満足感や達成感を得ることができていきます。これが、創造性や、課題解決能力にも大きくつながっていきます。



## 「繰り返しチャレンジする」

・何度も試行錯誤しながらチャレンジするなど、初めてのことや困難なことがあっても粘り強く遊ぶことで、子供のやりきる力となっていきます。これがレジリエンス能力につながっていきます。



## 「自分の感情や考えを伝え合う」

・遊びや生活の中で、自分が考えたことやその時の感情を伝え合う場を通して、自分の考えや感情をアウトプットすることの大切さを学んでいきます。同時に自分の居場所を感じていくことにもつながります。



## 「自分の役割を果たせる場」

・飼育している鳥骨鶏のお世話など、愛着をもちながら自分ができることを考えて行動することで、自分の大切さについて実感することができていきます。こういった役割を果たす経験が集団づくりにつながります。



### 3 まとめ

幼児期の遊びや生活の中で、子供たちは「学びの構え」を獲得していています。小学校においても、子供たちの実態把握のために子供たちの好きなことなどを把握しながら関わっています。また、夢中になるような学習教材を準備し、諦めずに粘り強く努力する子供を応援し続けています。そして、言葉の力を大切にして対話的な授業や生活を心がけています。さらに、委員会や係活動などの特別活動を通して自分の役割を果たせる場の環境づくりをしています。私たちがいつも心がけていることを、幼児期でも大切にしています。

そう考えると、子供たちが幼児期に遊びや生活を通して「学びの構え」を獲得し、小学校が0からのスタートではないことを理解することが大切ではないでしょうか。子供たちの力を信じていくことが幼保こ小接続の大切な「心の構え」だと思います。そして、私たちが得意な「問い」を使って、子供たちの思いや願いを教室のみんなに聴かせていきたいですね！

#### 〈乳幼児教育支援センターより〉

本来「学ぶ」ということは楽しいことであり、夢中になって何度も繰り返し没頭するようなものですよね。そうした能動的な学びとなるようなヒントが幼児教育の「環境を通して行う教育」という考え方にはたくさん隠されています。研修も後半です。スタートカリキュラムとしてどのよに環境を工夫すれば、そうした学びとなるのか、具体的に考えていきましょう。